

平成29年度 高短生調査の結果報告

高田短期大学 自己点検・評価委員会

<本調査の目的>

高田短期大学に在籍する学生に対して質問紙調査を行い、学生の学習成果や短大生活の満足度等を把握し、高田短期大学の今後の教育や学生支援を改善・向上させていくための基礎資料の蓄積を目的とする。

<調査方法>

高田短期大学の全学生を対象として実施し、調査項目は「基本属性」「1週間の活動時間」「授業内外における学習行動」「短大生活全般」「学習・生活支援」「キャリア支援」「学習環境」である。

<基本属性>

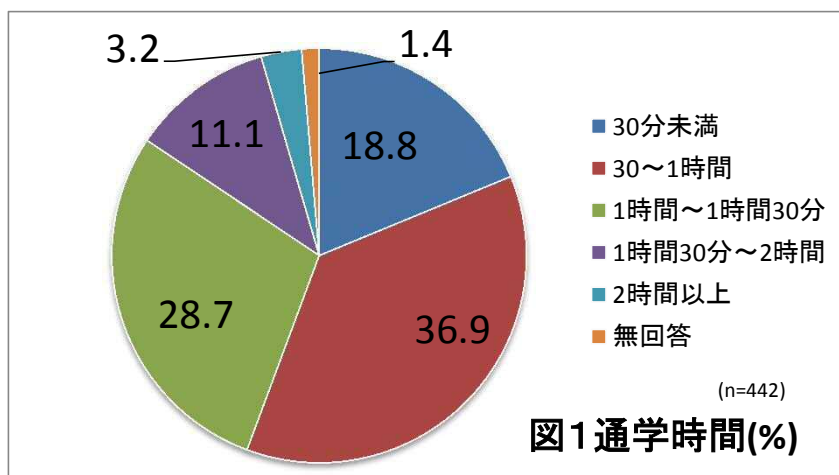
所属学科および学年を表1・2に、通学時間を図1に示した。

表1 所属

	人数	%
子ども学科	284	64.3
キャリア育成学科オフィスワークコース	124	28.1
キャリア育成学科介護福祉コース	34	7.7
合計	442	100.0

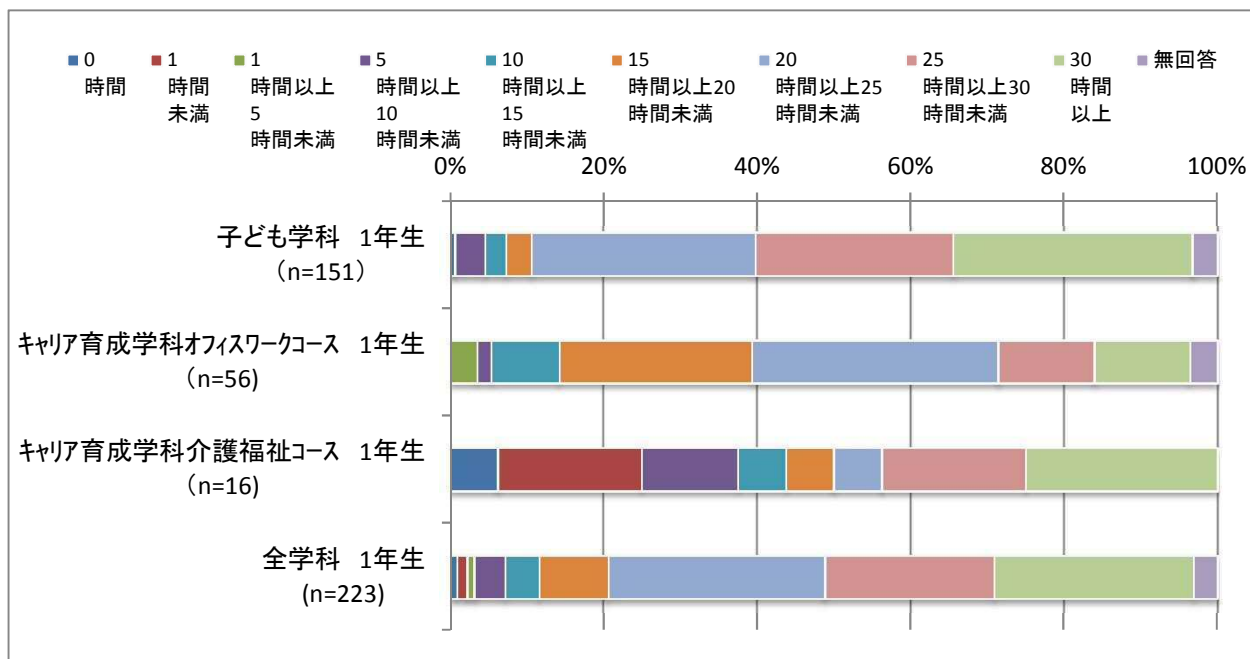
表2 学年

	人数	%
1年	223	50.5
2年	219	49.5
合計	442	100.0

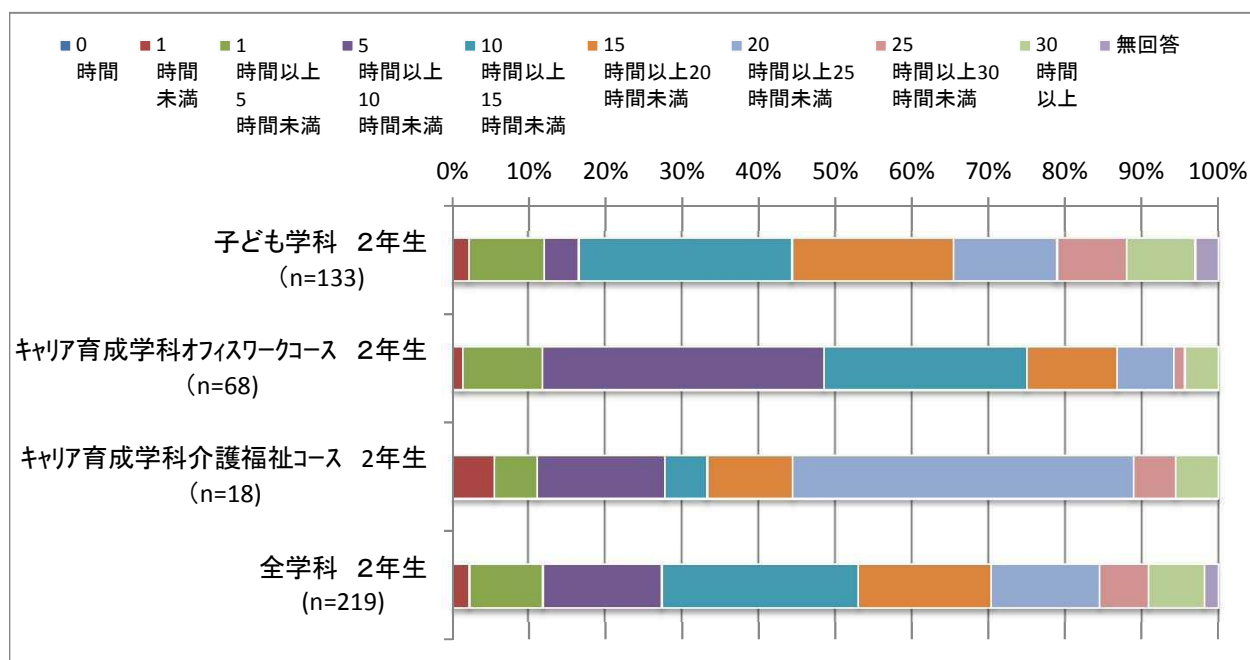


1週間の活動時間—1 授業を受けた時間(問4)

1年生の回答結果

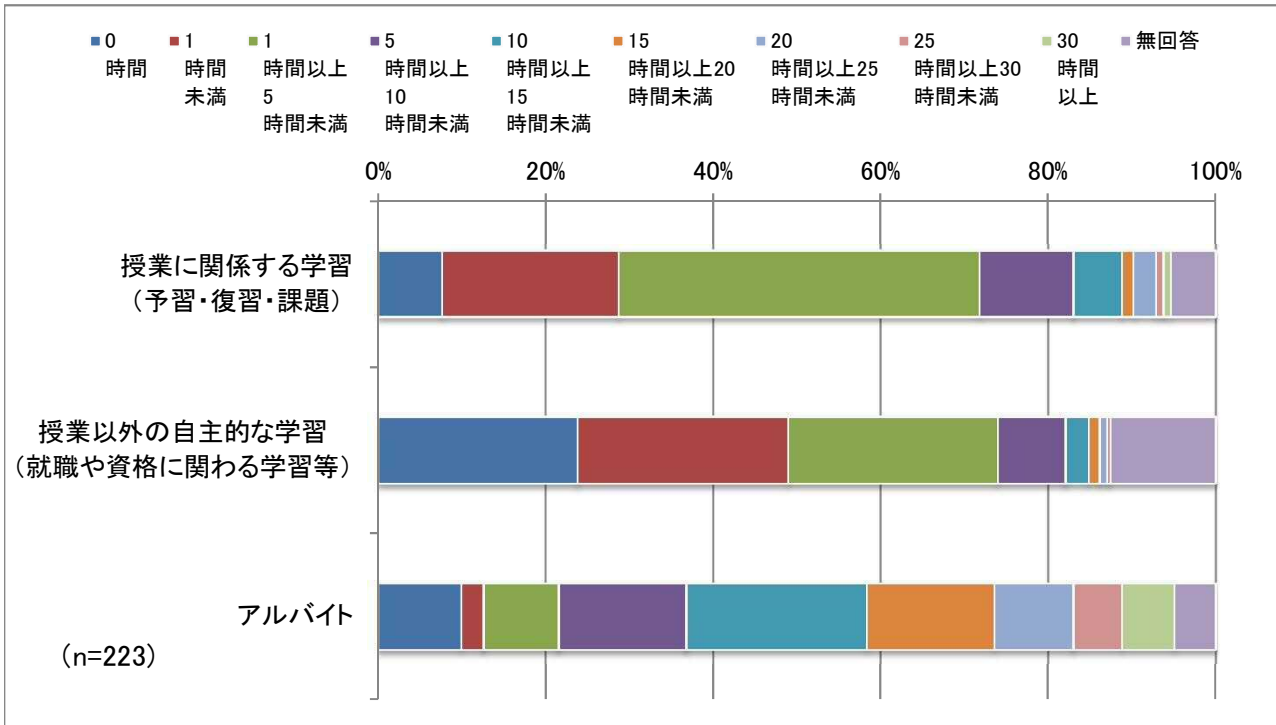


2年生の回答結果

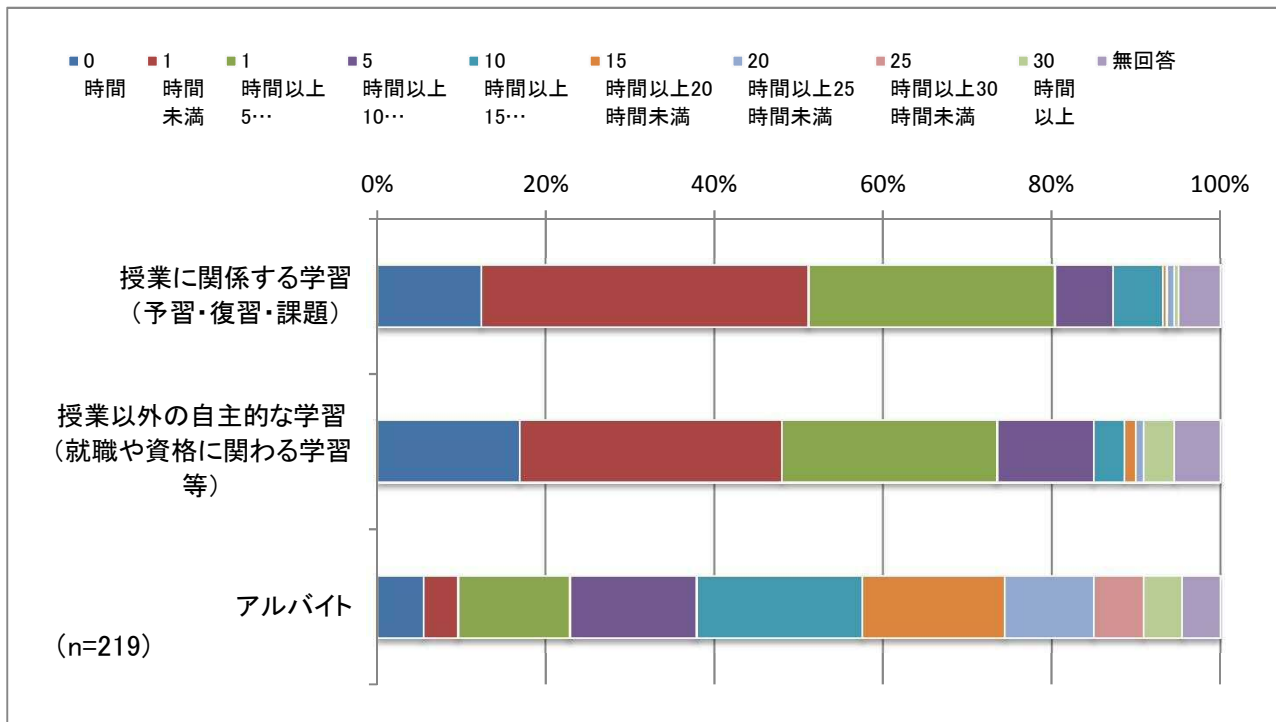


1週間の活動時間—2(問5~7)

1年生の回答結果

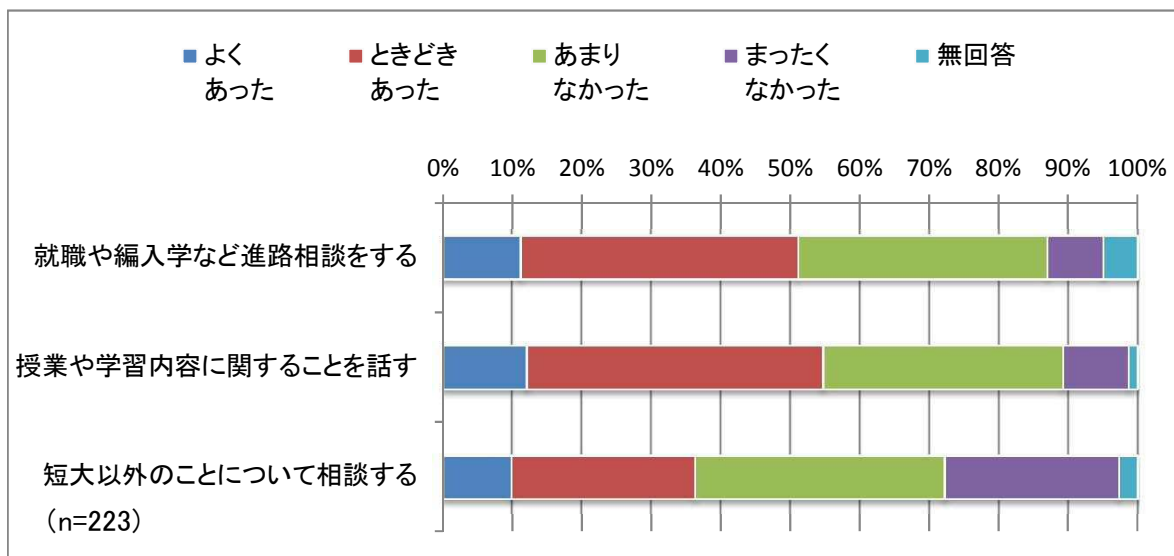


2年生の回答結果

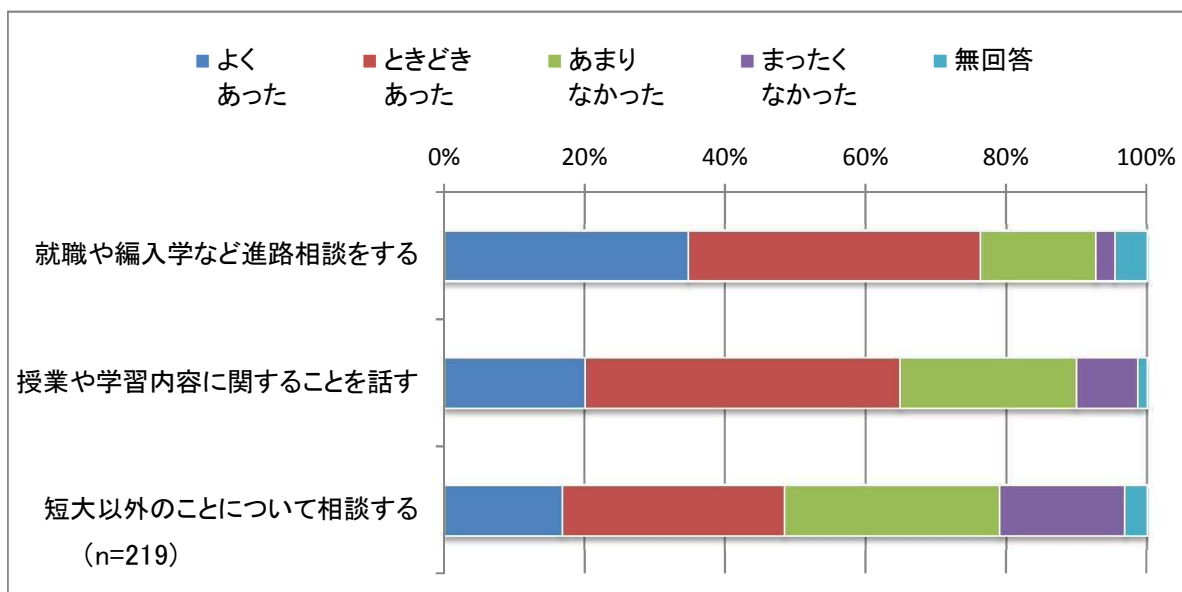


教員との面談(問8~10)

1年生の回答結果

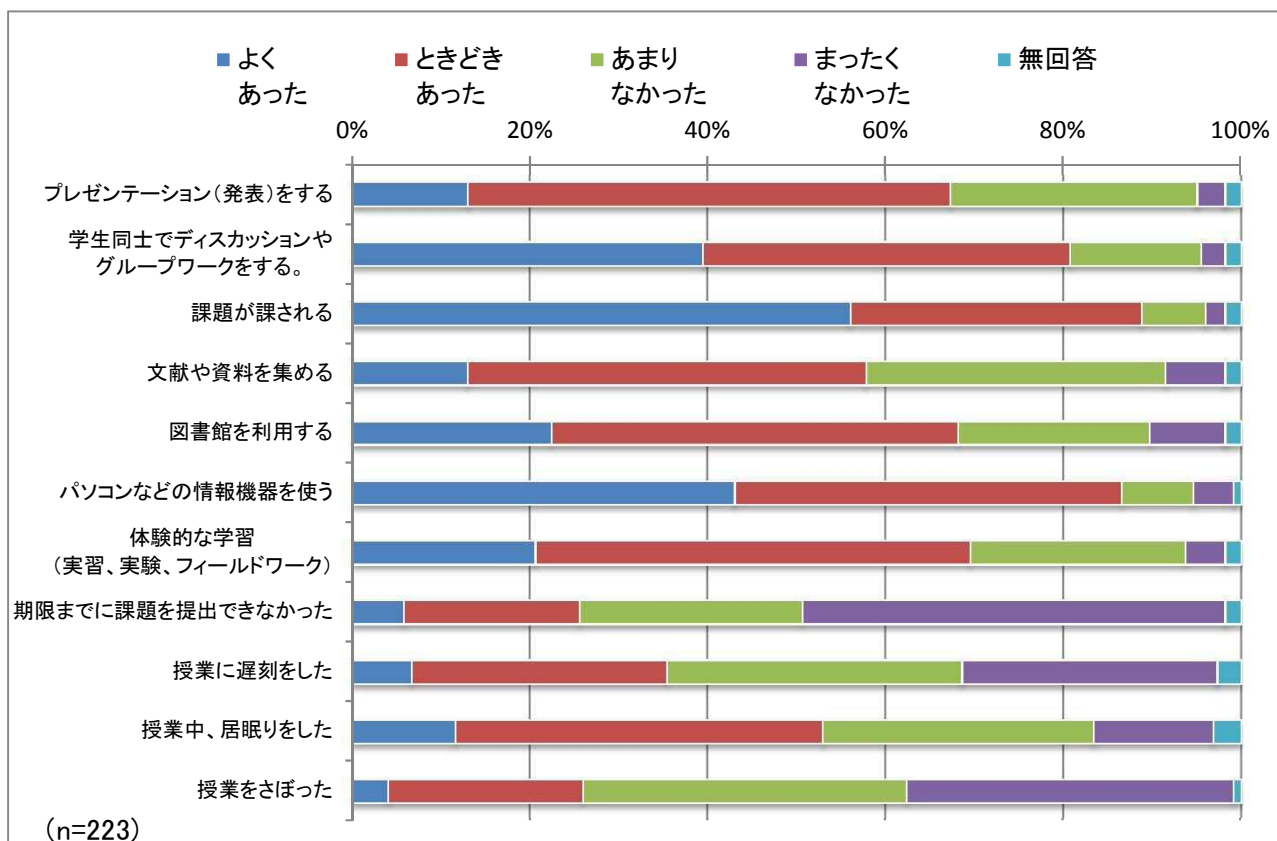


2年生の回答結果

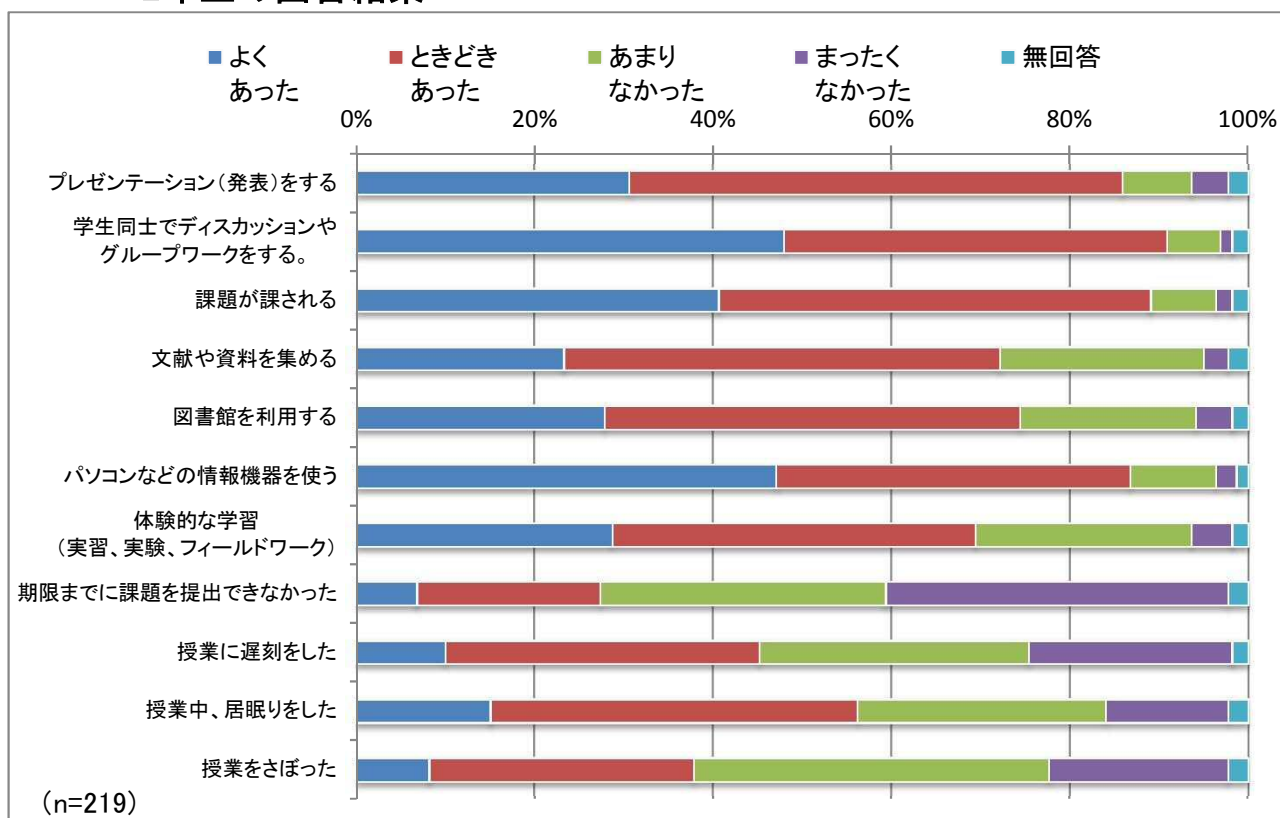


授業内外における学習行動(問11~21)

1年生の回答結果

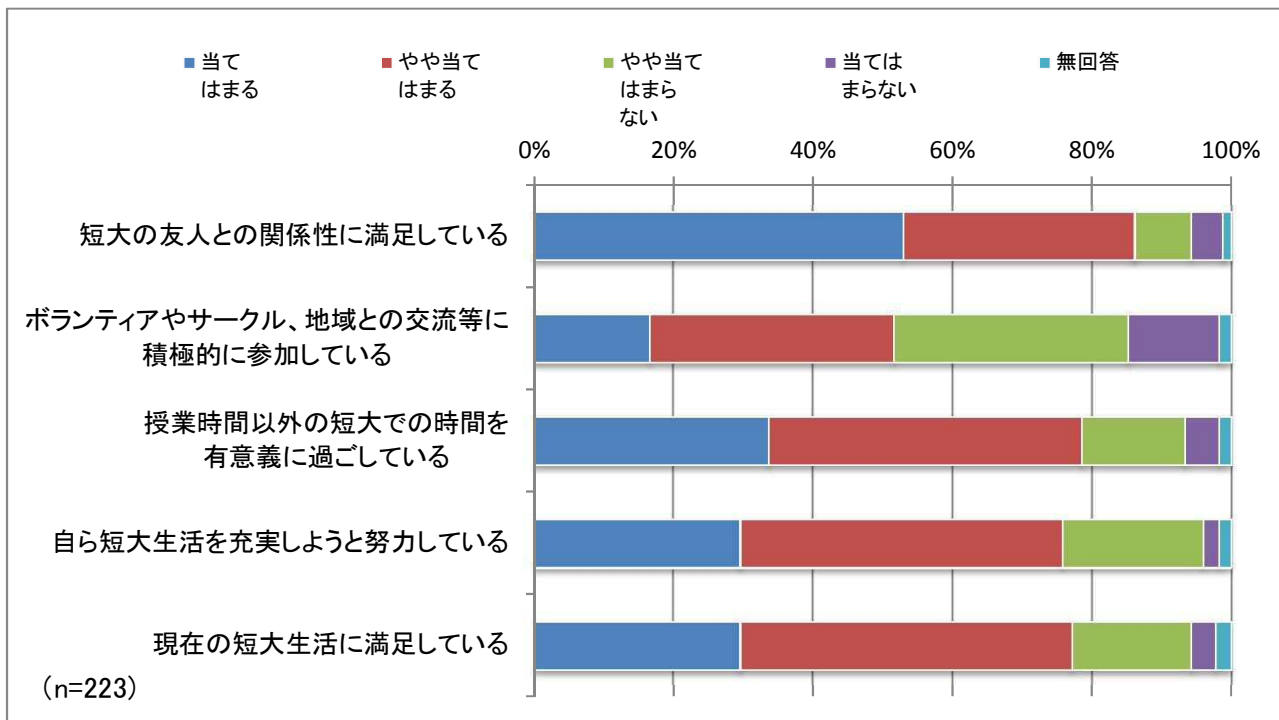


2年生の回答結果

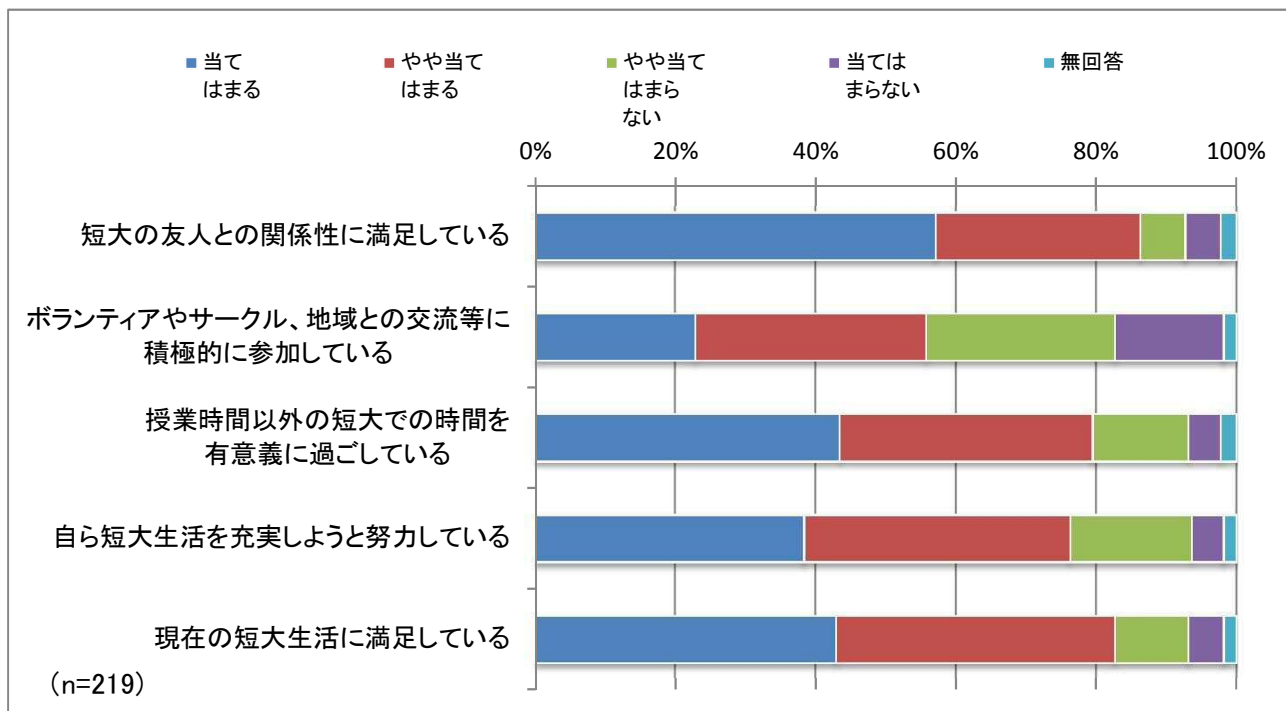


短大生活全般の意識の結果(問22～26)

1年生の回答結果

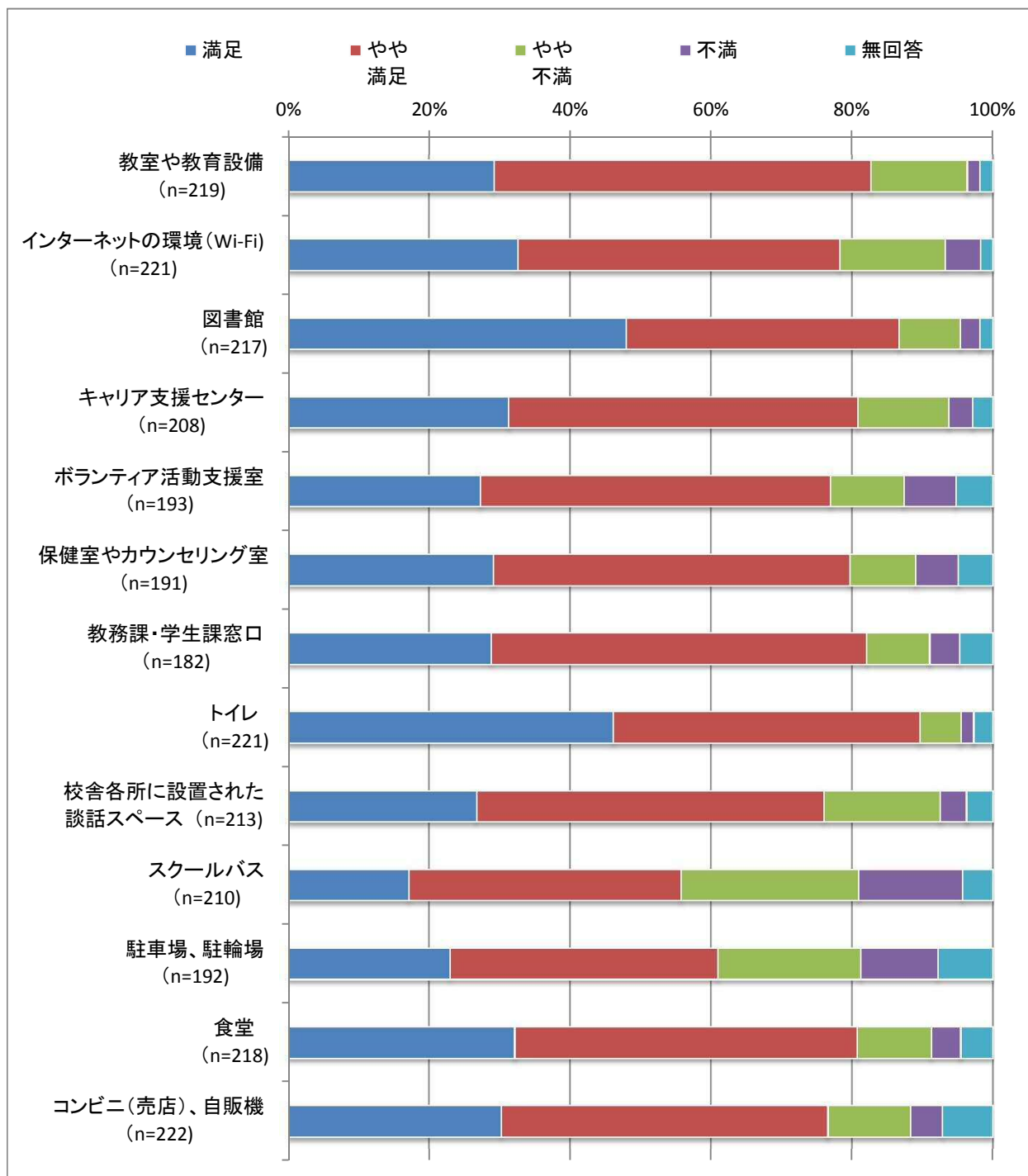


2年生の回答結果



学内の設備、学習支援環境等について(問27~39) - 1
 *「わからない」の回答は削除

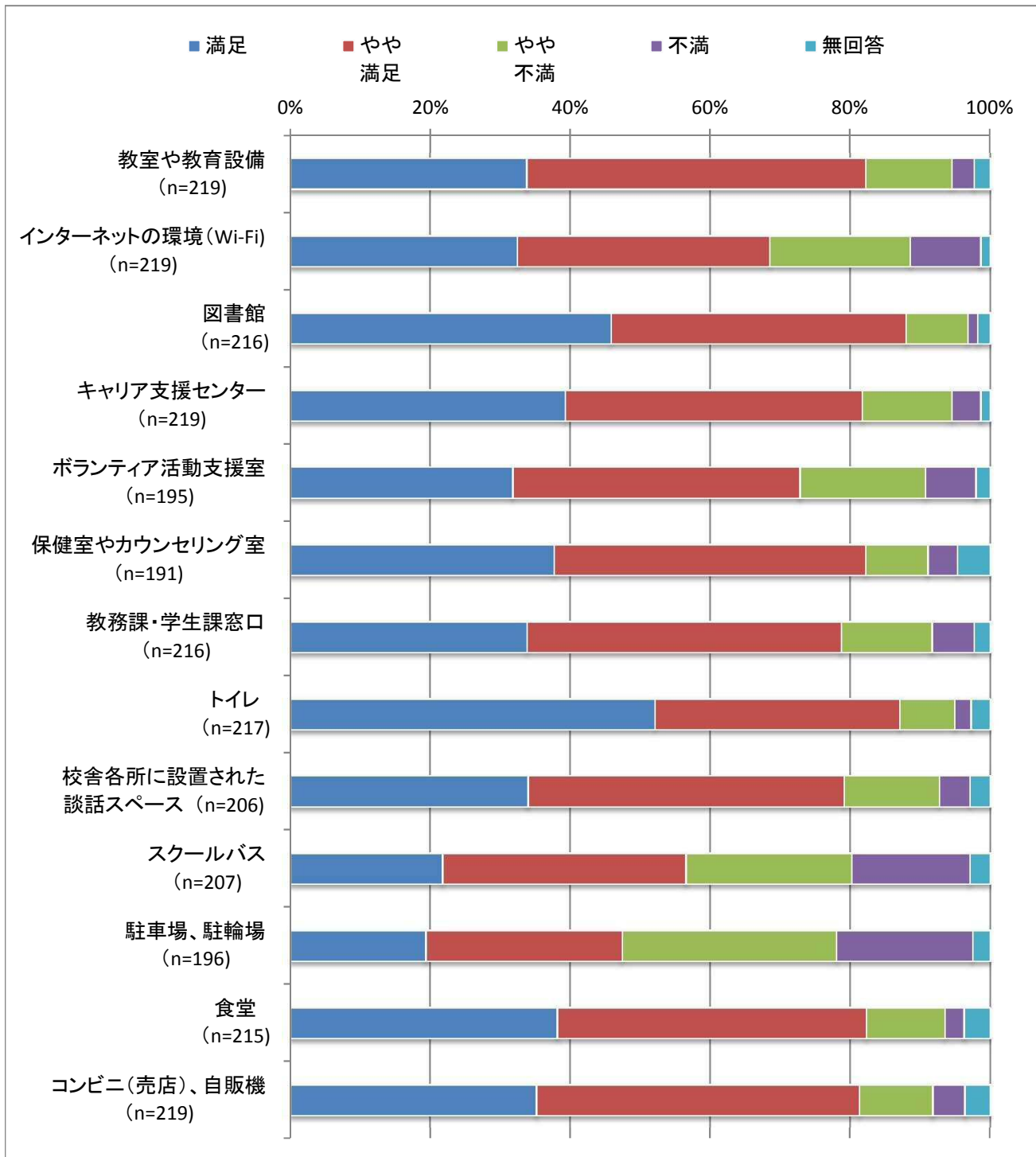
1年生の回答結果



学内の設備、学習支援環境等について(問27~39) - 2

*「わからない」の回答は削除

2年生の回答結果



<満足度調査結果について>

スクールバス、駐車場について満足が60%を切る結果となりました。スクールバスの改善希望としてバス降車場所、バスの増便が挙げられていますが、実施は難しく、現運行方法が最善と考えます。その理由は、学内侵入路である細く蛇行した坂道での安全対策が第一であること。さらに、保有バスおよび運転手体制やバス利用人数、授業遅延をさける登校優先での運行体制確保のためです。また、駐車場についても坂道と学内駐車スペースの問題から同様です。しかし、今後も学生の皆さんがよい短大生活を送ることができるように声を受け、できる検討・改善に努めていきます。